

## 愛知宣言

少子超高齢化時代の日本における 2040 年の医療提供体制を展望して、地域医療構想実現に向けたさらなる取組み、医師・医療従事者の働き方改革、実効性のある医師偏在対策が「三位一体」として推進されている。一方、新型コロナウイルス感染症は、我が国の医療提供体制における潜在的課題を露呈させた。医師の時間外労働上限規制の適用開始が 2024 年に迫っているなか、医療関係者はそれぞれの存続をかけてこれら解答困難な命題に対峙している。国民の膨大な医療ニーズが長時間労働を厭わない医師・医療従事者の自己犠牲によって支えられている実態が正しく理解され、「医療者の健康への配慮」と「地域医療の継続性」との両立が図られることが極めて重要である。医療を取り巻く環境が急速に困難なものに変化しつつある現在、勤務医は積極的に発信して日本の医療の望ましい変革を牽引してゆくべきである。

次の通り宣言する。

- 一、地域における医療関係者の自主的協議の取組みを、連携推進と機能分化のために組織化し、地域の医療を守る基盤として進化発展させる。
- 一、医師の働き方改革は、持続可能で質の高い医療提供体制の構築と両立させながら進める。
- 一、勤務医は医療現場の声に裏打ちされた説得力のある議論展開を主導してゆく。

令和4年10月15日

全国医師会勤務医部会連絡協議会・愛知